

## [色相・彩度]

### 1 [色相・彩度]を調整してメリハリのある色味にしよう

[色相・彩度]の機能を使うと、画像の色相、明るさ、彩度を補正できます。



#### ① サンプルデータを開きます。

[色]メニューの[色相・彩度]をクリックします。

#### ② [色相・彩度]ダイアログが表示されます。プレビューを確認しながら、[色相]、[輝度]、[彩度]のスライダーを調整して、好みの色味にしていきます。まずは全体がやや暗いので、[輝度]を[30]にします。



#### ③ 続いて、色のメリハリをつけるため彩度を調整します。[彩度]を[70]にします。かなり鮮やかで良い雰囲気になってきました。



- ④最後に色相を調整します。[色相]を [-8]にして少し暖色系にずらしました。[OK]をクリックして確定します。木の温もりが伝わるような温かみのある雰囲気になりました。



## MEMO [色相・彩度]ダイアログ

- ①調整する基準色を選択

変更したい色系統を、色相環の順に並んでいる RGB 三原色と補色 CMY の6色から選択します。中央の[マスター]をクリックすると、すべての色が一括で変換されます①。

- ②選択した色を調整

[色相]、[輝度]、[彩度]をスライダで調節します②。[色のリセット]をクリックすると③、初期値に戻せます。

- ③[オーバーラップ]

[オーバーラップ]を設定することで④、各範囲で色の重なり合う部分の程度を加減します。オーバーラップが[0]だと色範囲がはっきりと分かれてしまい、境界が目立ったり、うまくなじまなかったりします。逆に、設定値を大きくしすぎると隣接する色相の色が強く出てしまうので、プレビューを見ながら適切な値に調整しましょう。



## 2 [色相]をずらして写真全体の雰囲気を変える

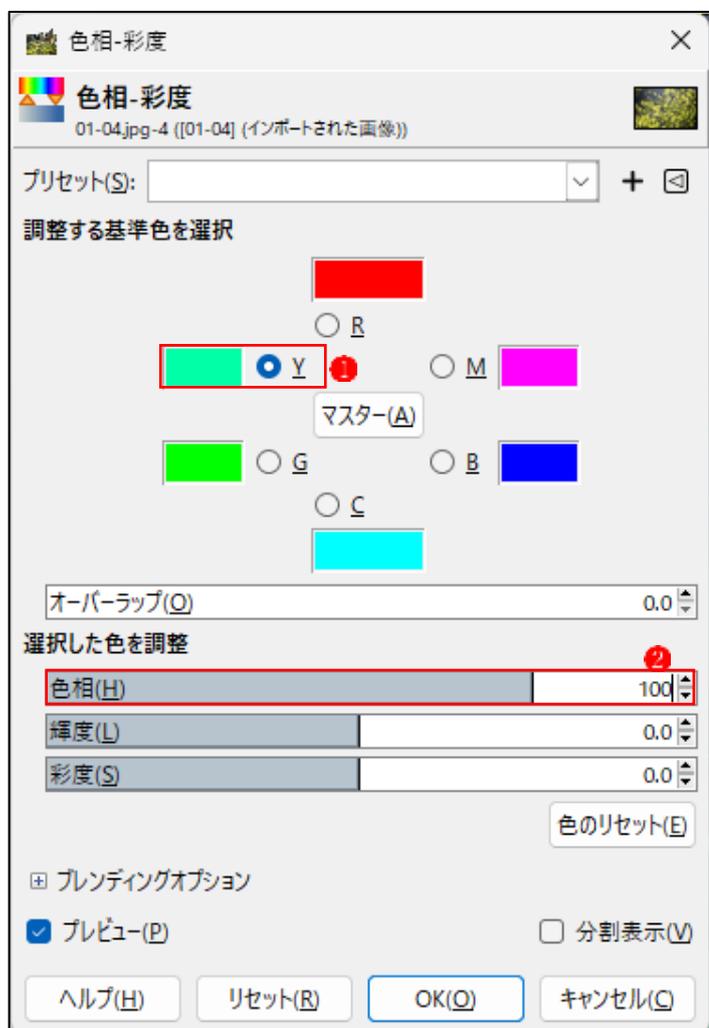
- ① サンプルデータを開きます。  
[色]メニューの[色相・彩度]をクリックします。



- ② [色相・彩度]ダイアログが表示されます。[調整する基準色を選択]で[Y]を選択します。

- [調整する基準色を選択]で色を選択してから、色相、明るさ、彩度を変更すると、指定した色の部分だけ変更することができます。[オーバーラップ]の値を大きくすると、[調整する基準色を選択]で指定した色を中心に近似する色部分も含めて補正されます。

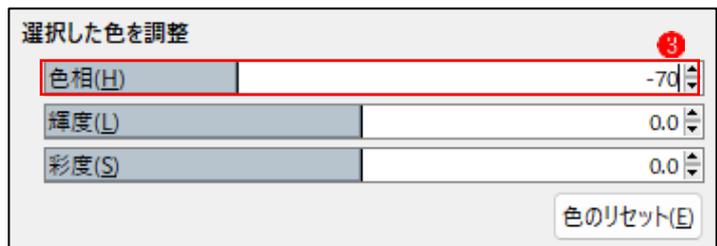
- ③ [色相]のスライダーを右に動かして[100]にします。黄色だった部分がエメラルドグリーンのような色になりました。





エメラルドグリーンのような色になりました。

- ④[色相]のスライダーを左に動かして [-70]にします③。黄色だった部分が赤になりました。好みの色になったら[OK]をクリックして確定します。



黄色だった部分が赤になりました。